

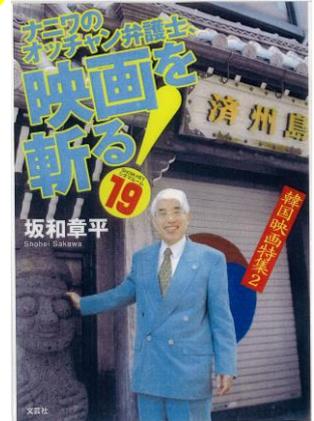
またまた完成！！



坂和総合法律事務所、全員集合！  
チームワークよく、暑さに負けず  
がんばっています。

(写真左上から)

永田 稲井 金子  
嶋津 坂和 細谷



雨にもマケズ、風にもマケズ、夏の暑さにもマケズ、「先生、出しすぎ！ ええかげんにせえ。仕事してますか？」などなどの非難の声(?)にもマケズ、『シネマルーム18』が7月末に完成(書店にならぶのは9月)! つづく『シネマルーム19』が8月末に完成(書店にならぶのは10月)します!

これからも弁護士業と映画評論家業の2足のわらじでガンバリマスので、温かい目で応援(注文)をお願い致します。

## 暑中お見舞い申し上げます。

- 1) 洞爺湖サミット終了後も、「福田丸」の方向性は杳として知れません。「政治は二流でも、経済は一流!」だったはずのニッポン国も、原油高騰とサブプライムローン問題の大波をモロに受け、株安と物価高そして経済減速が本格的な心配事となっています。
- 2) 夏休み明けの福田総理による内閣改造に興味が集まっていますが、真の焦点は衆議院解散=総選挙による自民VS民主の激突であり、その後の政権交代や政界再編の行方です。日本が混迷と沈滞から脱し浮上できるか否かに国民は関心を示し、積極的に行動すべきことは明らかです。
- 3) 他方、8月8日には遂に4年に一度の祭典北京オリンピックが開幕します。メダルの行方も大切ですが、今回はそれ以上に中国と北京が五輪開催によってどのように変わっていくかに注目したいものです。私が観て書いた

中国映画は150本を超えました。『坂和の中国映画大観』1、2に続く、中国語による映画本の出版計画のため、遂に私は8月22~24日上海に行くことになりました。来年1月に迎える還暦を控え、暑い8月の上海でどんな企画がどのように進展するか大いに楽しみです。

- 4) 橋下徹大阪府知事と違い、自由にフィットネスクラブに通える自由を満喫しつつ、仕事に映画に講演にと、充実度でも知事に負けないうこの夏を乗り切るつもりです。

皆様のご健勝を願っています。

2008（平成20）年盛夏

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

## 事務所の近況報告（弁護士業務編） ～坂和弁護士より

### (1) 弁護士35年目で、こんな貴重な体験を！

村田英雄が歌った『王将』で有名な阪田三吉は、「明日は東京へ出て行くからは、何が何でも勝たねばならぬ」という決意を固めて関根金次郎名人との対局に向かったが、弁護士だったまにはそんな決意で臨む事件がある。知力の限りを尽くした訴訟の攻防戦として、私は「モノレール訴訟」「阿倍野再開発訴訟」そして「津山再開発訴訟」があるが、この歳になって（？）、建物明渡の執行をめぐる、賃貸人の側で深夜の現場立会いという貴重な体験をすることに！事案は簡単。契約期間満了による建物明渡事件だが、判決を待たず、〇月〇日限りで原状回復のうえ建物を明け渡す旨の和解が成立した。こんな場合、時として問題になるのが明渡期限までにきちんと原状回復ができていないか否かだが、どうも本件はヤバそうだった。すなわち、当日夕方の立会では〇〇も△△も撤去しなければならないことは明らかだったが、それがあと数時間で可能？その確認のため、私は当日午後23時50分に再度現場で立会う旨を提案し、夜中の明渡執行に臨んだが、借主とその代理人はそこへ出席しなかった。その結果、借主側は賃料の3倍相当の損害金などいくつかのペナルティを負担することになったが、当方は当方の依頼した業者に原状回復工事をさせたうえその費用を借主側に請求することに。そんな的確かつスピーディーな明渡処理によって、事件は大いに当方に有利な形でケリがついたが、こんなに奮闘した明渡執行解決後の充実感、阪田三吉並み・・・？弁護士ってホントに面白い仕事だとあらためて実感した次第。以上、ジャンジャン！

### (2) 今年も、交通事故の講演を！

私は交通事故の事件処理を35年間続けており、05年10月に出版した『いまさら人に聞けない「交通事故示談」かしこいやり方』（セルバ出版）も大好評。飲酒運転が多発する中、「厳罰化」の流れが強まり、危険運転致死傷罪の新設や道路交通法違反の罰則強化が進められたことは、ご承知のとおりだが、運送会社にとって事故撲滅は悲願。昨年4回実施した「転ばぬ先の事故対策と交通事故示談のかしこいやり方」と題するセミナーに続き、今年10月からは京都北部（舞鶴）、奈良、和歌山、滋賀で講演をすることに。塩屋俊監督の『0（ゼロ）からの風』（07年）、直近に見た『帰らない日々』（07年）など交通事故の悲惨さを訴える映画をネタに使いながら、心に残る講演を目指したい。

## 事務所の近況報告（映画評論家編） ～坂和弁護士より

### FM千里『映画の森』ラジオ出演

ラジオ大阪の『はやり唄一番星』に生出演したのは03年11月18日のこと。その4年半後、今度はFM千里の『映画の森』に電話の声で映画を語ることに。その番組のナビゲーターである林ひろ子さんと知り合ったのは試写室の中。彼女はお仲間から「弁護士の坂和さんに1度声をかけてみたら」と言われていたそうだが、しばらくは遠慮していたらしい。でも、あるきっかけであいさつを交わすと、その後は旧知のお友達のように意気投合。その結果実現したのが、6月21日土曜日午後4時半頃からの電話でのラジオ出演だが、しゃべってみると、あっという間に時間は過ぎてしまうもの。林さん、これに懲りず、2度、3度と声をかけて下さいね！

## 事務所の近況報告（事務局編） ～嶋津事務局長より

### <少数精鋭(?)で奮闘中!>

当事務所の事務所だよりの表紙には、05年盛夏号（第5号）以降、坂和弁護士と事務局が並んだ写真を掲載していますが、どうしたのか、現在残っている事務局5人+αのαが同じであったことはありません。

私のひそかな夢は同じメンバーで写真を2号連続で載せることですが、それが実現する可能性は少なそうです。考えれば、この5人は第5号からずっと変わらずいるわけですから、それはそれでいいのかもしれませんが。

そんなわけで現在は、カビがはえてきた古株と、もうすぐカビがはえそうな中堅どころで、坂和弁護士の介護、いえ坂和弁護士の指示のもと、しっかり仕事をしていますので、今後ともよろしくお願い致します。

なお来年1月からは期待の新人、福岡壮一弁護士が入所する予定ですので、紹介しておきます。



### 来年のホープ☆自己紹介！

初めまして。福岡壮一と申します。

現在、京都で司法修習に励んでいます。ご縁がありまして、修習を終え、弁護士登録する際には、坂和総合法律事務所に所属する予定となりました。

ごくごく簡単に自己紹介させていただきますと、既婚、子供なし、年齢は40歳です。

大学時代は、法学部に在籍していたのですが、当時はまったく法律に興味がなく、世間同様、刹那的なバブルの雰囲気には踊っておりました。

大学卒業後、競馬新聞の記者を6年勤めて退職し、学習塾の講師で食いつないでいました。いわゆるフリーターというやつです。

そんな折り、司法制度改革の一環として法科大学院創設の話を目にし、受験してみたところ、運良く京都大学法科大学院の1期生として合格し、3年間をロースクールで過ごしました。

法律を本格的に勉強するのは初めてでしたから、大変と言えば大変でしたが、何とか無事に新司法試験をクリアし、現在に至っております。

さて、入所後は、噂通りの坂和先生の厳しい指導が待っていると思いますから、事務所所属弁護士としてデビューするまで、しっかりと力を蓄えておきたいと思っております。

では、その日まで、もうしばらくお待ち下さい。

## さがしています！

次の2物件についてテナントを募集中です。  
ご自身でもしくはお知り合いに事務所等をお探しの方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただきますようお願い致します。

★坂和総合法律事務所がある西天満コートビルの1階102号室（北側・17.18坪）  
★大阪地方裁判所の北門前の法律事務所専用の第5大阪弁護士ビルの4階（1707-につき1室・27.90坪）

## 章平コラム

### (1)「ふるさと納税」の活用を！

個人住民税の寄付金控除を大幅に拡充することを内容とする地方税法の改正によって、08年4月30日から「ふるさと納税」制度がスタートした。これは自分の好きな自治体を選んで寄付すれば、寄付金のうち5千円を超える部分について個人住民税所得割の概ね1割を上限として所得税と合わせて全額が控除されるもの。その限度で、どの自治体に住民税を納めるのかを自由に選択できるところがミソだ。5千円は寄付者の負担となるため、それを補填し、「おらが市町村」に寄付してもらおうと、各自治体は5千円相当の特産品をお返しするなどの工夫を凝らして獲得合戦をくり広げているが、その浸透はイマイチ。

また人口9万人の芦屋市は、1人当たりの納税額が27万円と全国一だが、阪神タイガースの金本知憲選手(推定年俸5億5千万円)など高額納税者の大半を占める市外出身者が「ふるさと」に多額の寄付をすると、数億円の減収となる恐れがあるらしい。

私のふるさとは愛媛県松山市。ここでは中村時広市長の掛け声によって『坂の上の雲』のまちづくり活動が展開されている。司馬遼太郎の原作にもとづくNHKスペシャル大河ドラマ『坂の上の雲』が現在撮影中だから、09年秋から3年間にわたってオンエアされれば秋山好古・真之兄弟や正岡子規の名前はもっと有名になるはず。そんなユニークなまちづくりを順調に進めるために、お金はいくらでもほしい。それが松山市の正直な心境だろう。

そこで私は、愛媛県人会の総会直後の5月30日、『坂の上の雲』のまち松山応援寄附金に△△円を寄附。すると、これが松山市におけるふるさと納税第1号とのことで、松山市長から感謝状をいただいた。私の寄附金が松山のまちづくりにどのように使われるのか、「As a Tax Payer」として監視しなければならないが、こんなふるさと納税の活用は、あなたの地方分権の学習と政治参加のきっかけになるのでは・・・？是非この制度の活用を！



歌好きの坂和弁護士らしく、「歌って踊るなんてできるかな・・・」とやる気マンマン(?)の発言が!?  
中年隊のライブを  
お楽しみに!(笑)

### (2)カラダスキャンでメタボに克つ！

近時ウエスト85cmを分岐点とした「メタボ論争」がかまびすしいが、あなたは体重体組成計＝カラダスキャンを知ってる？

文明の進歩や科学の発展は使いこなさなければ損。今ドキの健康管理は体重だけではなく、体脂肪率、体年齢、BMI、基礎代謝、骨格筋率、内蔵脂肪レベル、体幹皮下脂肪率などのチェックが大切！私が監査役を務めているコンピューターのオービックは今年創立40周年を迎え盛大な式典を催したが、その記念品として貰ったのがコレ。年齢、性別、身長

を登録し、毎朝、毎晩パンツ1枚でこの上に立ち、両手両足ですべての数値をチェックしメモするのが今や私のお楽しみの日課となっている。体脂肪率が20%を切っているのも立派だが、私の最大の自慢は体年齢。来年1月に晴れて還暦を迎える私のそれは、何と44～47歳！摂生すれば若くなるし、不摂生したなと思えば案の定。ちなみに、夜の測定後テレビを観ながら1時間ステップ運動をし、風呂からあがって再度計ると、すべての数値が健康に向けて上昇しているうえ、1歳は若返っているから数字は正直！お仕着せのメタボ検診を年に1度受けて、一喜一憂したのではダメ。カラダスキャンを有効に活用してメタボに克ち、自分で健康管理をしなければ！



### 事務局長のひとりごと(嶋津淳子)

- 1 今年の年賀状で紹介しました坂和総合法律事務所の4人の男性グループ「サカウップ」はヒット曲(?)もないまま、2月に1人、さらに5月にもう1人が引退しました。現在は「Kinki kids」ならぬ「kinki old kids」(?)ががんばっています。
- 2 しかし捨てる神あれば、拾う神あり。まだまだ世の中には命知らずでチャレンジ精神旺盛な変わり者がいるようで、来年1月には「少年隊」ならぬ「中年隊」(?)が結成される予定です。
- 3 今回は書類選考、面接に加え、記録を読んだの書面作成という難しい実技試験をパスした強者で、私も尊敬と期待をもってその結成を心待ちにしています。来年の天神祭懇親パーティーでは皆さんの前で1曲踊り付きで、すばらしいハーモニー(?)を披露できるくらい、リーダーの章平の指示のもと、ゆうちゃんこと金子友次朗&壮一(そういち)こと福岡壮一がチームワークよくがんばってくれることと期待しています。
- 4 そして私は敏腕マネージャーになってこの3人をこき使いたい(?)と思っています。「中年隊」への仕事の依頼は嶋津まで。どんな小さな仕事も、どんな難しい仕事も、やらせませう(?)のご期待下さい。

## 坂和章平とすばらしき人たち～交遊録 その4～在日中国人作家 毛丹青（マオ・タンチン）氏

- 1) 10冊の著書をもち、800万人のアクセスがあるブログをもつ、日本在住20年のバイリンガル作家が1962年北京生まれの毛丹青氏。そんな有名作家と中国語版『坂和的中国電影論』の出版について協議しながら楽しく食事したのは、私の行きつけのちゃんこ屋「神鷹」。

08年3月19日のこの出会いをセットしてくれたのは、留学生の時から家族ぐるみのつき合いをしている山西省出身の女性郭小莉だ。人の出会いとは面白いもの。一目で互いの「个性的で濃いキャラ」を嗅ぎつけあい、書くことが大好きという共通点を持つ2人はたちまち大の親友に。

- 2) そんな毛氏の紹介で出席したのが、08年4月2日に開催された「中国の人気作家 蘇童が行く 関西の旅 歓迎座談会」。その懇親会で私は弁護士稼業との2足のわらじをはく映画評論家として紹介され、『シネマ5』が配布されることに。



蘇童氏との2ショット

## 第7回天神祭懇親パーティー報告 ～嶋津事務局長より

- 1) 7月25日（金）、坂和事務所恒例となった天神祭懇親パーティーを開催しました。今年は、天神祭の顔となった歌手う～みのミニライブの他、ハワイアンあり、二胡あり、浜村節ありの芸術性の高い、また多くの中国人の方々の参加など、国際色豊かな1日になりました。
- 2) パーティー開始早々の午後4時頃、毛丹青氏のつながりで知り合った放送局勤務のTさん、大学の先生と留学生を含む学生さん、中国の曲阜・泰山・濟南・青島旅行からのおつきあいのCさん、長年の顧問先のMさんなどが続々と来て下さり、自己紹介＋スピーチタイムとなり、親睦を深めました。さらに海外のドラマや音楽の買い付けなどをされているYさんが美しい二胡奏者を伴って参加され、二胡の演奏に期待が高まりました。



スー・トン

ティエン・ユエン

その結果、蘇童氏との2ショットや女優 田原さんとの2ショットが実現するとともに、たくさんの新たな友人が生まれることになった。

- 3) ヒット作を連発している毛氏の狙いは、女優との対談など、売れる本にするためにいかなる仕掛けをするかということ。月に1度開催されているたこ焼き屋「にいたか」での「お茶会」などで、その戦略と戦術をじっくりと検討。毛氏は「僕が等身大の日本人と触れ合った感動を、多くの中国人と分かち合いたい」と語っていたが、そんな思いは私も全く同じ。

- 4) と言ってる間に早々と、上海での出版社との顔合わせを兼ねた打合せと「毛丹青 v s 坂和章平の対談」の企画が浮上し、遂に8月22～24日の上海行きが決定した。中国語の本の出版のためには本格的な通訳と翻訳者が必要だから、東京から駆けつけてくれるその先生とは上海で合流することに。

その時期はまだ北京オリンピックの開催中だから、いろいろ大変だろうが、精一杯情報収集をし、出版の方向性を見極めたい。

- 5) 毛丹青氏とのこんな交遊を大切に、私なりの日中友好と日中交流を広げ深めていく中で、中国語版『坂和的中国電影論』の出版を近い将来必ず実現したいものだ。



女優の田原さんとの  
2ショットに大感激!

- 3) そして5時頃、今回の目玉のひとつオッチャン（オジン？おじいさん？）バンドのメンバー5人が到着！さらに楽器のセッティングを待つ中、今年も浜村淳さんが到着し会場の温度は一気に上昇しました。お忙しい浜村さんの出席はむずかしいかなと考えていたところのサプライズに大感激！昨年の報告をみて浜村さん目当てに来られたお客さんは、コーン気味にカメラを取り出されたのでした。

- 4) 浜村さんには1杯ビールを飲んでいただいた後、早速浜村節をおねだり。快くマイクを受け取っていただいた後は、七五調の名調子に会場全員が聞きほれました。浜村さんの坂和に対する「最近のオススメの映画は？」との質問に対する坂和の答えは『闇の子供たち』。しかしこれは、『帰らない日々』を紹介するための「つかみ」でした。浜村さんがホントに紹介したかったのは、交通事故の悲劇をアピールした映画『帰らない日々』。坂和を呼び寄せたうえで、この映画ではひき逃げ死亡事故を起こした犯人が実は被害者の父親が依頼した弁護士だった、（坂和？）弁護士は信用ならん、という笑いをしっかりと。



さらに次のサービスは質問編。その第2問として「カルメンが口にくわえていた花はバラ、椿、カーネーション、アカシアのどれ？」と会場の皆さんに出題をされ、ほとんどの人が「バラ」と解答したところで、カルメン＝バラという先入観はダメ。バラを口にくわえたらとげが刺さってとてもムリ。正解は「アカシア」でした。ここで私たちが学んだのは、垂直思考はダメで、水平思考をしなければならないという教訓でした。



その他、書き切れないほどの楽しいお話で浜村ワールドを満喫しました。その後長い間会場の皆さんと歓談をしていただいたうえ、写真撮影にも気軽に応じていただきました。浜村さん、本当にありがとうございました。また来年もお待ちしております！！



5) 浜村さんの後は、オッチャンバンドが揃いのアロハで登場し、ハワイアンから懐かしの名曲まで、洪かっこいい歌と演奏を聴かせてもらいました。ステールギターの音色にさわやかな風を感じました。



6) 続いて5月にメジャーデビューを果たしたう～みが、アルバム『う～みの幸』とう～み作曲、吉本新喜劇の小藪座長作詞の『プリン』をひっさげて登場！う～みが自分の作品の中で一番好きという『みんな』でライブの幕を開けました。そしてメジャーデビューの報告、『プリン』の熱唱で感動を与えたあとは、忘れてはいけない坂和事務所の事務局長嶋津淳子作詞、坂和章平作詞協力、う～み作曲の名曲『SOM

E～ミマモツテイルヨ・・・』を。会場の照明を落とし、しっとりした雰囲気の中、会場全員がその詞に込めたメッセージをしっかりと味わいました。

7) う～みの歌声に感動した後は、休む間もなく、馬向華さんの二胡の演奏に会場はうっとり。

さらに浜村さんのリクエストで、浜村さん・坂和・う～みの歌、王雲逸さん（二胡）の4人のコラボによる『蘇州夜曲』まで飛び出しました。



8) そして、一休みしていただいたオッチャンバンドの2ndステージで会場の盛り上がりはクライマックスに。楽しい時間は「あっ」という間に過ぎ、中締め。その後も時間のある方は残っていただき、再度う～みの歌やおしゃべりを楽しみました。

参加して下さった皆さんのご協力のおかげで、今年の天神祭懇親パーティーも盛会のうちに終わることができました。ありがとうございます。謝謝！また私たち事務所のメンバーと共に事務職員のように働いて下さったIさん、Fさんありがとうございました。

9) 来年の7月25日にまたお会いしましょう！今年残念ながら参加できなかった方は、来年お待ちしております。再見！

★★★★★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

う～み応援団より

う～みのファーストアルバム『う～みの幸』はパーティーで披露してくれた『みんな』やチョーヤの梅酒のCMで流れる『私のふるさと』など計7曲が入って2,000円で全国のレコード店で好評発売中です。

是非う～みの声に癒され、感動して下さい。

またう～み作曲・小藪千豊作詞の『プリン』（500円）もあわせて聴いてみて下さい。大切な人へプレゼントするときと絆も深まります。



- 1 坂和弁護士の息子の坂和宏展です。もうすぐ弁護士生活3年目ということで、仕事にも慣れ、毎日バリバリ働いて充実した日々を送っています・・・と言いたいところですが、このあたりが慢心しやすく危険なところでもあり、気を引き締めていかなければ・・・と自分を抑える意識を持つようにしています。
- 2 さて、最近の業務で気になっているのは、「行方不明になる人って、意外にたくさんいるんだ」ということです。弁護士の仕事には、たいてい「相手方」がいるものですが、その「相手方」がどこにいるか分からない、生きてるか死んでいるかも分からない、となると、公示送達という手続を使ったり、不在者の財産管理人の選任や失踪宣告の申立てをしたりするなど、なかなかやっかいなことになります。昔、「日本では、1年に1万人が交通事故で亡くなり、3万人が自殺で亡くなり、10万人が行方不明になる」という話を聞いて、そんなものかなと思っていたのですが、あらためて調べてみると、実際に1年に10万件くらい警察に「捜索願」が出されているようです。もちろん、この中には、すぐ見つかる家出人も含まれるわけですが、逆に、いつまでも見つからない人もいますし、捜索願の出ない人も多数いると思われしますので、「10万人が行方不明」という話も、あながち間違いではないようです。
- 3 もちろん、行方不明になった人も、多くは別の場所で何らかの生活を営んでいるのが通常であり、事件性がないケースが大半なのでしょうが、それにしても、「行方不明」になるということは、それまで積み重ねてきた関係を全て消し去ってしまう、ということです。それを望んで行方不明になる人も、いやいや行方不明になる人も、それなりの事情があったの、ということなのですが、探しても見つからない「相手方」に、何とも言えない複雑なものを感ぜざるを得ないのも弁護士業務のイコマです。
- 4 ところで、昨今、通り魔殺人が続けてニュースで報じられたこともあり、「日本の治安は悪くなった、怖くて外を歩けない」という意見を時々見かけます。しかし、日本で1年間に起きる殺人事件は1200～1500件程度で推移しており、その中でも、無関係な人を殺傷する通り魔事件はごくわずかです。したがって「通り魔に殺される確率よりも、知った人に殺される確率のほうが何倍も高いし、交通事故で死ぬ確率のほうがその6～7倍くらい高いし、自殺する可能性のほうがさらにその3倍高いし、行方不明になる確率はまたさらにその3倍高い」ということになるはずですが、人間、数字にもとづいた冷静な判断というのは意外に難しいようです。

#### 事務局次長の奮闘記 (金子友次朗)

- 1 7月10日午前5時4サーン分、サーン人目の子供が生まれました！サーン千グラムを少し超えたかわいい女の子でした♪・・・失礼しました。3人目の子供ということで、親バカならぬ親アホになってしまった金子です。

今回もしゅっサーン・・・オホン。出産に立ち

会うことができましたが、何度立ち会っても最初の産声を聞いたときの感動は変わりません。元気に生まれてきてくれてありがとうという感謝の気持ちが湧くと同時に、親としての責任を強く感じました。

- 2 おりしも3人目の娘が生まれた後、山口県の中2少年によるバスジャックや埼玉県の中3少女が父親を刺殺するというショッキングな事件が立て続けに起こりました。これらの事件の背景や動機についてはマスコミ報道以上のことはわかりませんし、また、報道されていることがすべてとも限りませんので、実際のところは私にはわかりません。

しかし私は、こういった未成年者による事件が起こるたびに、わが子たちに対し親として自分ができることは何かということに思いを巡らせています。そんな中で出てきた答えの一つは、「どの年齢の子供に対してきちんとして正面から向き合うことが大事なのではないか」ということです。

- 3 塾講師をしていた経験からすれば、子供が最初は冗談めかして話を持ちかけてきたとしてもこちらがきちんと正面から聞いていけば、いつしか真剣な相談に変わっていくことがよくありました。今3歳7カ月の息子と2歳2カ月の娘から将来そんな話を聞くことがあれば、そのときには必ず正面から向き合おうと思います。

今はまだ、洋服のボタンを自分一人でとめられた娘が何とも言えない得意気な顔で「パパ見て！」と言ったり、おもちゃの車を一人で組み立てることができた息子が「ほら！お父さん！」と言ってニヤリと笑ったりするレベルですが・・・。そんな彼らの笑顔をこれからもずっと見ていたいと思います。

- 4 今回は「奮闘記」というタイトルから少し離れ、3人の子の親となった私の「決意表明」のような内容となってしまいましたが、坂和事務所の「kind old kids」の片割れとして、また来年1月以降は「中年隊」の一員として、これからもリーダー章平の指示と敏腕マネージャー嶋津のマネージメントに従いながらがんばっていきたく思いますので、よろしくお願い致します。



金子奈楠 (なな) でちゅ！

#### カラオケ部屋

今やすっかり世間から忘れ去られた亀田3兄弟の二男大毅がリング上で歌っていたのが、長洲剛が歌う『男たちの大和/YAMATO』の主題歌『CLOSE YOUR EYES』。これに対し、私の最新の持ち歌は、韓国の女性歌手B.O.Aが歌う『be with you.』これは『犬と私の10の約束』(08年)の主題曲らしく、「約束」をテーマとした名曲。「いつか ねえ、交わした約束をちゃんと憶えていますか？」と語りかけるサビの部分はメチャ難しいが、東京への新幹線内でのiPodでの猛練習によって、今や完璧にマスター。ずっと私が持ち歌としているB.O.Aの美しい曲『JEWEL SONG』とともに、あらゆる舞台(?)で歌い込んでいかなければ・・・。(坂和章平)

## 『地球でいちばん幸せな場所』

(ステファン・ゴーガー監督、ファム・ティ・ハン主演)  
人口8400万人のうち30歳未満が6割以上というベトナムは、少子高齢化の進む日本と正反対だが、アジアで最も日本とよく似た国。そんな国から、<sup>フオ・ジェンチイ</sup> 霍建起監督の『山の郵便配達』(99年)や<sup>チャン・イーモウ</sup> 張藝謀監督の『初恋のきた道』(00年)と同じような心温まる映画が上陸! 両親を亡くした10歳の女の子を軸とし、そこにランとハイを加えたハートフルな物語は感動がいっぱい。日本にも、かつてはこんな良き時代があったのでは・・・?(8月9日～シネマート心齋橋) 案内: おふいす風まかせ

## 『同窓会』

(サタケミキオ監督、宅間孝行、永作博美主演)  
私の同級生たちは今年4月から順次60歳を迎えるから、松山市での還暦同窓会が楽しみ。長崎県島原市出身で惚れて結婚したはずの同級生が、今離婚したのはなぜ・・・? 余命3カ月(?) 宣告を軸とした物語のテーマは「勘違い」。『キサラギ』(07年)や『アフタースクール』(08年)とよく似たテイストの、最高に面白い映画を楽しもう! 偽装列島ニッポンには怒り心頭だが、こんな勘違いならオーケー・・・?(8月16日～シネマート心齋橋) 案内: ツイン

## 『闇の子供たち』

(阪本順治監督、江口洋介、宮崎あおい、妻夫木聡、佐藤浩市主演)  
内容がハードで日本映画にそぐわない。そんな原作に、阪本順治監督が挑戦! そのテーマは臓器売買。買うのはもちろん日本人、提供するのタイの少女たち。新聞記者の目やNGOの目を通じて暴かれるこんな衝撃的な現実をしっかりと直視し、何らかの行動を起こすべきでは・・・?(8月2日～テアトル梅田ほか) 案内: オフィス・リブラ

## 『雲南の花嫁』

<sup>チャン・チアルイ</sup> 章家瑞監督、<sup>チャン・チンチュウ</sup> 張静初、<sup>イン・シャオティエン</sup> 印小天主演  
大地震に見舞われた四川省よりもっと奥にあるのが、25の少数民族が暮らす雲南省。第1作『雲南の少女 ルオマの初恋』(02年)は、ハニ族の娘が強烈な印象を残したが、「雲南3部作」の第2作は、イ族と帰家(結婚しても3年間は結ばれてはならない)そして女龍舞隊がテーマ。第2の章子怡の呼び声が高い<sup>チャン・ツイイー</sup> 張静初の少しコミカルな演技の評価は難しいが、北京オリンピックに湧く今、こんな中国もあることをしっかり認識しよう。(8月23日～シネマート心齋橋) 案内: ツイン

## 『落語娘』

(中原俊監督、ミムラ、津川雅彦主演)  
落語モノは面白い。それは『寝ずの番』(06年)や『しゃべれども しゃべれども』(07年)等で実証済み。また、劇中劇モノは面白い。それは『恋におちたシェイクスピア』(98年)や『王の男』(05年)等で実証済み。そんな2つの伝統を、『落語娘』は見事にキープ! 背筋が寒くなるからクールビズに最適な『緋扇長屋』という「怪談噺」を聴きながらゲラゲラ笑うのは、今夏最高の楽しみかも・・・?(8月23日～シネ・リーブル梅田) 案内: ソフトシューズ

## 『アイアンマン』

(ジョン・ファヴロー監督、ロバート・ダウニーJR主演)  
映画を観て考えるのはイヤ。映画は楽しめればいい。そんなあなたには、全米大ヒットのコレがお薦め。軍需産業で大儲けしている主人公による「武器製造中止発言」のビックリ度は、マイクロソフト社の創始者であるビル・ゲイツの引退宣言以上! そんな彼は、何のためにパワードスーツを開発し、何のために誰と闘うの? そう考えると、『スパイダーマン』(02年)と同じ「マーベル・コミックもの」ながら、『アイアンマン』は意外と奥が深い・・・?(9月27日～TOTOシネマズ梅田ほか) 案内: ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

## 【坂和総合法律事務所 業務時間ならびに周辺地図】



**\*\*\*業務時間\*\*\***

平日 午前9時～午後6時  
土曜日 午前9時～午後3時  
(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

相談にこられる際は日時の予約をさせていただき、  
関係資料を一式持参して下さい。  
また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにて  
いただければ幸いです。



西天満コートビルの外観

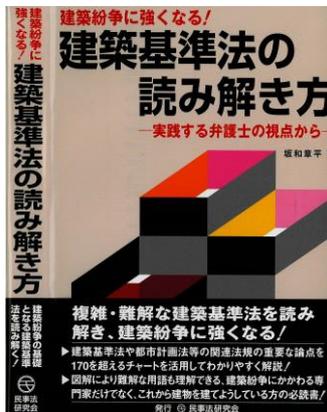
**坂和総合法律事務所フロア案内**

3階 坂和総合法律事務所  
201 坂和事務所会議室  
401 オーナーズフロア  
1階玄関はオートロックですので、当事務所にお越しの方は「301呼出」を押して下さい。

- 地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」徒歩5分
- 地下鉄堺筋線「北浜」徒歩6分
- 地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」徒歩10分
- JR東西線「大阪天満宮」徒歩6分

## 出版物（新刊）紹介

ご注文は坂和総合法律事務所までFAX（06-6364-5820）もしくはメール（office@sakawa-lawoffice.gr.jp）にてお願いします。送料は実費をご負担いただきますのでご了承下さい。お支払は請求書を同封しますので、銀行振込にてお願い致します。



### 『建築紛争に強くなる！建築基準法の読み解き方 —実践する弁護士の視点から』(民事法研究会) 定価3700円(税別)

05年11月のヒューザーと姉齒元一級建築士による耐震強度偽装の発覚によって「建築確認」を核とする建築行政に激震が！ピアチェックの導入や罰則の強化など第1弾、第2弾の法改正がなされ、07年5月には「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」も成立し、自賠責保険と同じような強制保険の道も・・・。

しかし、建築基準法は難しくわからない。そんなあなたのためにその読み解き方が明快に！170のチャートを活用した章立てと論点整理によってわかりやすさはバッチリ！

坂和弁護士の本業での頑張りも是非ご注目を。



### 『坂和的中国電影大観2 SHOW-HEYシネマルーム17』(文芸社) 定価2000円(税込み)

出ました！中国大好き、中国映画大好きのSHOW-HEYが07年10月念願の北京電影学院での講義の夢を果たし、04年12月発行の『坂和的中国電影大観 SHOW-HEYシネマルーム5』に続く中国映画の評論をまとめた第二弾！！

中国映画の評論83本を掲載するだけでなく、07年10月10日に北京電影学院で実施した「坂和的中国電影論」と題する特別講義の臨場感を少しでも味わってほしいと考え、講義録と講義風景などの写真を掲載しました。

是非、SHOW-HEYの中国映画への熱い思いを体感して下さい。

\* \* \* \* \*



### 『ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る！ SHOW-HEYシネマルーム18』(文芸社) 定価2000円(税込み)

夏の暑さに負けじとSHOW-HEYは映画に情熱を注いでいます。そんなわけで『シネマルーム17』の完成から2カ月、『シネマルーム18』ができちゃいました。

内容をギュッと凝縮し、いつもより少しページ数が少なくなっていますので、通勤電車の中でも手軽にお読みいただけます。そして『シネマルーム18』は『シネマルーム17』で中国映画を、8月完成予定の『シネマルーム19』で韓国映画を特集したため、中国映画、韓国映画以外の映画、特にヨーロッパの映画が多く収録されています。

暑い夏におしゃれなヨーロッパの香りを味わえる1冊です。

#### 〔その他のお薦め本〕

愛媛大学法文学部での「都市法政策」の集中講義をまとめた『**実況中継 まちづくりの法と政策**』I～4

法曹界について坂和・吉岡・嶋津がそれぞれの視点で書いた『**いま、法曹界がおもしろい!**』

マンション建替え円滑化法を逐条ごとに解説する『**注解 マンション建替え円滑化法**』

景観法の条文にそってわかりやすく解説した『**Q&Aわかりやすい景観法の解説**』

ロースクールの教科書として活躍の『**実務不動産法講義**』

「転ばぬ先の杖」交通事故の処理のことがよくわかる『**いまさら人に聞けない「交通事故示談」かしこいやり方**』

坂和弁護士の青春時代から、まちづくり、都市計画についてのコラム・評論、映画評論、旅行記までをまとめた

『**がんばったで！31年 ナニワのオッチャン弁護士評論・コラム集**』

映画評論家SHOW-HEYの初々しい処女作「シネマルームI」や「シネマルームII」「III」「4」「5」「6」「7」「8」「9」

「10」「11」「12」「13」「14」「15」「16」も大好評発売中です（パート5・17は中国映画特集、

パート8・19（8月完成予定）は韓国映画特集）。

ご注文は同封の注文書で。お待ちしております。